



宇宙



聖陵会芸能隊

- 第22回 観光祭花火大会を終えて
- ご声援ありがとうございました
- “拾新寮の集い”がおこなわれました
拾新寮運営会 岩里正生理事長挨拶
- 全体研修会について
- 次世代システムの運用開始
- アニマルセラピー 素馬に行きました!!
- 大内さんの里帰りツアー
- 流しそーめん
- 新入職員紹介
- 日田漫歩 ☺ 盆踊り口説

第22回 観光祭花火大会を終えて

5月24日(土) 聖陵ストリームにて、聖陵会観光祭花火大会を開催しました。今年もたくさんの方々を迎え様々なイベントや花火をゆっくり楽しんで頂きました。



「病気や障害をもった子どもさんや、その御家族に安心して花火を見てもらいたい」との思いからはじまった、このイベントも今年で22回をむかえ、養護学校・いきいきランド・銀河・田天使の会・パレット・拾薪寮の方々とその御家族の方、総勢156名の方々にご参加頂きました。

今年はどうじゃぶりの雨……誰もが花火が上がるのだろうか?と心配している中、18時から第一部のイベントが始まりました。イベントでは、聖陵会の芸能隊による踊りから始まり、子ども達が目を輝かせて見ていたバルーンショー、迫力のある酒吞童子太鼓の演奏が行われました。

そして、最後に参加者全員で「上を向いて歩こう」を合唱し参加者全体が一つになり、和やかな雰囲気の中で第一部が終了しました。

心配していた花火も無事に上がり、今年も二階のホールでゆっくり花火鑑賞。雨の中の花火もとてもきれいに見えました。花火大会も終わり、子ども達が「あいごう」と言って笑顔で帰っていくのを見送りながら「来年は天候に恵まれますように!」と祈りつつ、来年もまた同じ笑顔が見られるように頑張ろうという気持ちになりました。

最後になりましたが、今回ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。

■実行委員長 加 隈 里 美

“ご声援ありがとうございました”

今年も総勢30人で川開き観光祭に参加しました。今年も涼しく始まり、焼け付く暑さで終わりました。

当日は理事長が引率してくださり、励みとなりパレードでは大暴れしてきました。毎年の事ながら1ヶ月間書類・練習・花車……等、準備がとても大変でしたが、今年もみんなで役割分担し観光祭を迎えました。

年々色の違うチームができてます。来年はどんな色のチームになるのでしょうか!

スタッフのみなさん御協力ありがとうございました。



■聖陵会芸能隊一同

“拾薪寮の集い”がおこなわれました

6月15日(日)に聖陵ストリーム・ダイケアにて、来客数約70名の「新寮落成と森山雄生先生を偲ぶ会」が行われました。これまで多くの方々のご支援によって支えられてきた拾薪寮と寮生たち。その彼らと拾薪寮に関ってきた方々が一同に会し、拾薪寮の新築を祝い、拾薪寮の発起人である森山雄生先生の想いを皆で振り返る、意義深い会となりました。

拾薪寮運営会 岩里正生理事長挨拶

世の中が昭和から平成となり、20世紀から21世紀になる中で、私達は活動を始め、今も続いており、更に後世に残さなければならないと考えています。既に計画を立て始めてから19年の歳月が流れ、実際に寮ができてからでも16年が過ぎています。

この間、私達は飯を食い、喫り、各々の仕事をして生きてきました。地方の一教師である森山先生の行動を見、聞き、それを実践しようと動いてきた私達は、ガンジーや空海を仰ぐのと同じ様な気持ちでいたのだらうかと思議に思います。

思い起こせば、先生は日田に住んで、五条殿山を仰ぎ、三隈川や日田の自然を愛し、広瀬淡窓の詩を尊しとしていました。それ以外に、先生の愛したものは、教え子達とハンディを背負った小さなもの達です。

病氣や怪我で飛べないスズメの子が、巢で震えているのを見た時、更にその時、強い雨が降ってきたら自分達はどう感じるでしょうか。森山先生はきっと不安で一杯のスズメの丸い目を見たのだと思います。その目にあわれみを感じたのではなく、愛情と何かの美しさを感じたように思います。

自分達の人生の残りも少なくなってきましたが、生ある限り弱者を支え、共に歩いていきたいと思ひます。そう思える事が、師が自分達に残してくれた最高のプレゼントであり、それを続ける事がOne Heart(心は一つ)だと。

この活動と想いを、師 森山雄生先生に捧げます。



全体研修会について

6月14日・28日に、今年も聖陵会全体研修会が実施されました。両日に聖陵会スタッフのほぼすべての者が参加し、参加者は204名に上りました。

今年のプログラムは

- 人権ビデオ：『いつも ところに ほほえみを』
- 安全管理研修：『病院のTQM、安全管理のための5S活動』
- 感染対策研修：『シンプル微生物学』

がそれぞれ堀内副院長、森山検査技師を講師として行われました。



講演中の石丸邦夫さん

また、今回は特別講演として14日に日田観光協会会長の石丸邦夫さんをお招きして「街に夢を 地球に未来を」という題で講演をしていただきました。

28日には大手保険会社の調査部長の経歴を持つ、石松靖彦さんに「私の歩んで来た道」という題で講演をしていただきました。石丸さんは豆田町を今のように活気のある街に作り変えた中心人物で、「1日1感動」など興味あるお話をしていたいただきました。

また、石松さんには保険会社の調査役の苦労や9回の転勤で得た初めての相手と打ち解けるテクニックなどを紹介していただきました。



講演中の石松靖彦さん

次世代システムの運用開始



近年、医療の世界でもデジタル化により、電子カルテや遠隔画像診断が進む中、厚労省は、デジタル画像診断からモニター診断へ・フィルム保存から電子保存へ転化することにより、医療費を約600億円削減できると試算している。

聖陵会でも2008年7月15日より、一部の検査を除きフィルムレスのモニター診断を開始いたしました。フィルムレスとは、従来、X線画像を提供していたフィルムという媒体を使わずに画像情報を電子保存し、画像を見るときには、専用のモニターで診察・診断するシステムです。

今回、特徴的なのは、聖陵岩里病院・聖陵ストリーム・聖陵花月クリニックの3施設をインターネットで結び、ネットワークシステムの構築を行った点(情報の共有化)で、どの施設からでも専用モニターで画像を自由に見ることができるとのことです。

フィルムレスの運用によるメリット

- * 検査内容によって、患者さんの医療費負担が軽減します。
 - * 画像情報を施設間で共有することができ、聖陵岩里病院で撮影後すぐに、聖陵花月クリニックや聖陵ストリームで、画像が見られます。
 - つまり、施設は異なっても専門医による診断が直ちに出来るということです。
 - * 画像(写真)が劣化せず、情報は半永久的に保存される。
 - * 資源(フィルム)の節約という意味で地球にやさしい。
 - * 画像情報を伝える媒体の選択肢が増えた、フィルム・DVD・CD等です。
- わからないことや、その他ご質問等ありましたら、気軽に放射線科スタッフへお尋ね下さい。

■聖陵岩里病院 放射線科



アニマルセラピー 乗馬に行きました!!

子ども発達支援センター 銀河

6月7日に福岡馬事公苑にてアニマルセラピーがあり、今回初めて参加されたご家族の方よりコメントを頂きました。

◎健太君、康太君より

人参をあげる時、少し怖かったけど、馬が食べてくれた時は嬉しかった。馬の目が可愛かった。馬に乗った時、凄く高いと思ったけど、とても気持ち良く楽しかった。バスの中でお友達も出来て嬉しかった。おやつのかりんとうも、美味しかった。又行きたい!



◎お父様、お母様より

当日は天候にも恵まれ子ども達のいきいきとした表情を見ることが出来、親の私達も楽しい時間を過ごす事が出来ました。子ども達同士の繋がりがや保護者の方々のコミュニケーションも図る事が出来て良かったです。



日頃、動物と触れ合う事があまり無いので、とても貴重な経験が出来たと思います。次回も是非、参加したいと思います。ありがとうございました。

大内さんの里帰りツアー

5月にストリームの長老(103歳)大内氏が入所以来、久しぶりに自宅に帰りました。帰ってすぐ仏壇にお参りをし、とてもうれしそうでした。家族や親戚の方と写真を撮り、「また帰ってきたい」と言葉を残し、ストリームに戻りました。

今後もこういう機会をたくさん作っていききたいと思います。



流しそ〜めん

暑くなってきた季節に涼しさを感じて頂こうと、毎年恒例で行っている「流しそ〜めん」を今年もデイケアにて行いました。ホールを横切る様に設置された竹を見て、「いいねえ〜」という声があり、食事が始まったら5〜6名の方が竹の所に来て食して下さいました。

職員も利用者に混ざり一緒にそ〜めんをすくって食べました。家で食べるそ〜めんとは一味違い、美味しかったです。

目で楽しみ、舌で楽しんだイベントランチとなりました。

聖陵ストリームデイケア



■聖陵ストリームデイケア 井上 旭

新入職員紹介

- ①氏名
- ②誕生日
- ③血液型
- ④所属
- ⑤趣味
- ⑥これからの抱負



聖陵岩里病院

①井上和美

② 2月12日

③ B型

④ 看護助手

⑤ お菓子・パン作り

⑥ 日々努力を重ね、1日も早く一人前の仕事ができるようになることが、私の今の目標です。皆さん、今後ご指導よろしくお願ひします。



①竹内淳子

② 10月15日

③ B型

④ 事務

⑤ 音楽鑑賞・読書

⑥ 「いつも笑顔」を心がけて頑張りたいと思います。



聖陵ストリーム

①朝倉眞佐子

② 3月16日

③ B型

④ 2F介護

⑤ ウォーキング・お花

⑥ ストリームに務めだして約8ヶ月になります。これからも頑張りたいと思います。



①河津喜代子

② 11月3日

③ A型

④ 3F介護

⑤ 球技物・庭いじり

⑥ 生きがいを見つけた事に感謝し、頑張りたいと思います。



①平島由紀子

② 8月24日

③ AB型

④ デイケア

⑤ 読書

⑥ 利用者の方のお役に立てる様な介護士になりたいと思います。



日田漫歩 ②

盆踊り口説

橋原 義則



「盆踊り」。広辞苑によると、盂蘭盆（うらば
ん）に精霊を迎え慰める踊り。原始舞踊に発し、
仏教渡来後は盆の儀式として行われたが、室町末
期から民衆娯楽として発達した、という。

日田の盆踊りを調べる機会があった。興
味をそそったのは、古くから伝わる「口
説（くどき）」である。「日田・珍珠盆踊
り口説」（昭和52年、日田市教委編）を見る
と、江戸中期から始まったらしい。初盆の
家は「坪借り」で踊り始める。「今宵一夜の 坪貸
しなされ 床を一枚 傘（からかさ）ひとつ」。坪
とは庭のこと。傘は、反響してマイク代わりにな
るらしい。

穴井六郎右衛門を称える「義民口説」（ばんば
踊り）、仇討ちの「団七踊り」をはじめ、「国定
忠治侠客口説」「石童丸と菊堂道心」「番町血屋
敷お菊怪談口説」など60〜70種類。説教師、浄瑠
璃、歌舞伎、農民一揆など日田で起きた事件を題

材に、江戸末期〜明治期に作られたものが多い。
楽器はシンプルに太鼓のみが主流のようだ。

のど自慢の「口説き手」が床縁（縁台）に立っ
て朗々と歌い継ぎ、その周りを踊りさんざめく民
衆の光景が目当たりに浮かぶ。

六郎右衛門の墓があり、8月16日夜の「閻魔さ
ま踊り」で知られる龍川寺（財津町）を訪ねた。
岩橋法彦住職は「団七踊りを踊ります。長短の竹
の棒をリズムカルに打ち合わせ、3人1
組（娘2人と親の仇の志賀団七）の輪が
いくつも広がる」と話す。有名な「郡上
おどり」（岐阜県）にも、農民一揆の口説
「やっちく」がある。郡上節十数曲のなかで
も口説と呼ぶのは、一貫したストーリーがある
「やっちく」だけのようだ。

その口説も歌謡曲などに押され、年々廃れてき
たという。今夏の盆踊りは、ぜひ龍川寺でナマの
口説と踊りを拝見したいものである。

経歴：毎日新聞記者。鹿児島支局長、経済部長、
編集委員を経て2000年4月、日田赴任。



医療法人 聖陵会

■ホームページ <http://www.seiryu.or.jp/>
■E-mail seiryu@seiryu.or.jp

救急指定

聖陵岩里病院

〒877-0052 大分県日田市銭淵町16-18 TEL 0973-22-1600
FAX 0973-22-1603

介護老人保健施設

聖陵ストリーム

〒877-0075 大分県日田市中釣町485-3 TEL 0973-26-3111
FAX 0973-26-3114

居宅介護サービスセンター

TEL 0973-27-6687 FAX 0973-23-6166

訪問介護サービスセンター

TEL 0973-27-5345 FAX 0973-26-3114

こども発達・支援センター 銀河

TEL 0973-26-3111 FAX 0973-26-3114

聖陵花月クリニック

〒877-1232 大分県日田市大字三和931-6 TEL 0973-27-5050
FAX 0973-22-1080

アンコール小児病院（カンボジア）